

様式

技術名称	アスファルトマット	技術の分類	防災・維持管理	NETIS登録の有無 (有場合はNETIS番号)		
会社名等	日本海上工事株式会社	担当者	星野 太	連絡先	03-5802-6351	
技術の概要	<p>①洗掘防止用アスファルトマット：捨石マウンド等の法先の洗掘孔斜面にたわみ込ませて発達を抑制する海底面被覆材。防波堤の粘り強さの腹付工の洗掘防止材として被覆工に使用されている。</p> <p>②摩擦増大用アスファルトマット：ケーソン等の重力式構造物の底部と捨石マウンドの間に設置し、滑動抵抗を増大させる材料。</p> <p>③吸出し防止用アスファルトマット：ケーソン式護岸等の背面に敷設する事により、構造物背後の埋立土砂の吸出しを着実に防止し、陥没、沈下を防ぐ材料。</p>	対象者	<input checked="" type="checkbox"/> 国土交通省職員 <input checked="" type="checkbox"/> 港湾管理者 <input checked="" type="checkbox"/> 一般(施工業者・コンサルタント等含む)			
		添付資料	パンフの有無	有		
			その他の資料	発表論文・評価機関の評価書 等		
技術の特徴	<p>①洗掘防止用アスファルトマット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地条件により、波浪に対する安定性を確保するための必要厚さ、張出し長を構造物の形式別に設計でき、経済的かつ効果的な仕様の決定が可能。 ・設置後の追跡調査により、その効果および長期耐久性が確認されている。 ・防波堤の”粘り強い化”における腹付工の洗掘防止用マットとして、御前崎港にて国内で初めて採用される。 <p>②摩擦増大用アスファルトマット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計時の摩擦係数は、$\mu = 0.8$を使用でき、構造物の安定性(安全率の向上)、経済性(断面の縮小によるコスト削減)等に寄与。 ・捨石の均し精度を緩和($\pm 5\text{cm} \Rightarrow \pm 10\text{cm}$)することで、コストダウン、省人化を図れる。 ・粘弾性体であるため捨石上に設置したときのケーソン底版への反力を分散軽減。 <p>③吸出し防止用アスファルトマット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不透水であるため、確実に吸出し防止効果を発揮。 ・耐荷性、耐久性があるため、供用時の上載荷重、連続的な波圧に対しても破損する事無く、吸出し防止効果を発揮。 	その他	<p>①～③に共通する特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期耐久性：海中に50年間暴露した供試体を使用した試験により、初期値と変わらない性状であることを確認。ライフサイクルコストに優れる。 ・溶出試験により、周辺海域に影響がないことを確認。①については、実海域のアスファルトマットに海藻が植生することを確認。ブルーカーボンに寄与。 			

※複数の技術について発表をご希望の場合は技術ごとに記載願います。